

事業 2

大和市民活動推進補助金 応募用紙

2005 年 05 月 30 日

大和市長 あて

申請者 住所 _____

団体名及び代表者名（個人の場合は氏名）

パソコンコミュニケーションアシストピコピコ代表者 渡辺由美子

次のとおり応募します。

1 . 申請内容

(1) 補助金の区分	(どちらかを で囲んでください) ①. めばえ 2 . はぐくみ
(2) 事業の名称	大和市内の各施設・作業所などの福祉施設における情報バリアフリー推進活動。 楽しく、ためになる「優しく学べるパソコン・IT 普及」訪問事業
(3) 補助希望額	50,000 円

2 . 申請団体等の概要

(1) 団体名 個人の場合は氏名	パソコンコミュニケーションアシスト ピコピコ
(2) 住所 ホームページ	
(3) 連絡担当者 及び連絡先	担当者 渡辺 由美子

(4) 設立年月 (個人の場合は 活動開始年月)	2005 年 5 月 (法人格取得年月 年 月) 「めばえ」の場合は、予定でも可	
(5) 設立目的・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ◇ パソコンに関する事業を行っているメンバーが、夫々が持っているノウハウを地域内に於いて、「情報ユニバーサルデザイン」の推進アシストとして「デジタルディバイトの解消」や「パソコンユーザーのバリアフリー」のアシストを目的として設立した。 ◇ 健常者よりもむしろ、施設などに入所・通所されている又は、不自由があるため開催場などに外出困難である、パソコンの利用ができない環境である、パソコン利用で不自由なため問題がある方に対して、自らが訪問してアシストすることが必要と捉えた。 ◇ 利用者として同じ人間である、平等であるべきという考えから、存在する解消すべき点をお手伝いすることやコミュニケーションの楽しい道具として「優しく学べるパソコン・IT普及」に努めたいという目的で活動を始めた。 	
(6) 主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 毎週火曜日を活動日とする。 ◇ 活動場所:大和市内の各施設・作業所へ訪問する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「パソコン笑福会」と「パソコンお悩みたすけ隊」(仮称) <ul style="list-style-type: none"> ・「パソコン活用」、「パソコンコミュニケーション」方法をプレゼンテーション。 ・パソコンの利用で問題などのご相談受付。 主に、パソコンの基本操作から活用提案が基礎となる。 2. 不自由な方のパソコン活用支援相談・必要な補助器具・ソフトなどの提案と導入支援 <ul style="list-style-type: none"> ・各種公共施設などへ外出困難な方のアシスト。 ・パソコンについてのアンケートとヒアリング調査。 3. 各参加者・相談者別のアシスト管理と検討会 4. 情報機器設備の導入支援(ケースに応じて各行政への申請代行業務)とサポートを行う 5. イベントの開催までのアシスト(将来の目標) <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンで絵手紙作品を作り展覧会などのイベントに参加 ・家族・知人とのメールで遠隔地とのデジタルコミュニケーションを実施 ◇ 活動日以外のアシスト: <ol style="list-style-type: none"> 1. 各参加者のアシスト管理(検討・計画・導入支援など) 2. サポート対応:電話・メールなど 	
(7) 活動実績 (主な活動実績) 1 2	(事業としての活動実績は新たに始めるためなし。) 個人活動:メンバーの事業での実績、ラプス IT 講座、生涯学習センター、やまとボランティアセンター個人ボランティアでの PC アシスト、大和市内小学校 PC 補助員として身体の不自由な児童に対してパソコン指導	
(8) 会員数 (団体の場合)	個人 = 2 人 (うち大和市民 2 人) 団体 = 団体	
(9) 今年 度の 予算 状況	予算期間 = 2005 年 05 月 ~ 2006 年 03 月	
	収 入	支 出
	会費収入 6,000 円	(内容を簡単に記入)
	(内訳:入会金 1,000/1 人・年会費 2,000/1 人)	・ 光熱費 30,000 円
	事業収入 524,000 円	・ 通信費 20,000 円
	(内訳 施設単位の PC アシスト 16,000 円 / 月 × 3	・ 交通費 30,000 円
施設 × 9 ヶ月間 + ご相談 PC 導入アシスト費 62,000	・ 印刷費 10,000 円	
円 + サポート 30,000)	・ 人件費 480,000 円	
助成金・補助金 70,000 円	・ リース費 30,000 円	
(内訳 協働補助金: 50,000 円 + 寄付金 2,000 円		
× 10 名)		
その他(内訳)		
合 計 600,000 円	合 計 600,000 円	

(10)過去に助成を受けた実績	助成団体名	助成年月	助成金額	助成内容

3. 申請事業内容

<p>(1) 事業の名称 1(2)と同じ</p>	<p>大和市内の各施設・作業所などの福祉施設における情報バリアフリー推進活動。 楽しく、ためになる「優しく学べるパソコン・IT普及」訪問事業</p>
<p>(2) 事業の目的</p>	<p>平成13年に「e-Japan 戦略」が打ち出されITのインフラが構築されつつある現代社会に於いて、ブロードバンド普及では「パソコン」・「IT」を使いこなせるのは当たり前といわれる状況にあります。 しかし、あくまでも健常者(健聴者・晴眼者)が当たり前前に整ってきたことであり実際には、社会的弱者と言われる高齢の方や様々な不自由のある方が、情報端末としてパソコン・ITが必要不可欠とされているのに様々な問題点があるのが実態とされています。 常に「バリアフリー」を基本とし情報のユニバーサルデザイン推進で「アクセシビリティ」・「ユーザビリティ」を目指し問題を排除・支援しながら「パソコン」・「IT」の活用できるように「アシスト」することがミッションと考えます。</p>
<p>(3) 事業の内容</p> <p>「はぐくみ」の場合、これまでの活動をどう充実、発展させていくのかがわかるように記入してください。</p>	<p>対象者 <input checked="" type="checkbox"/>主に大和市民 <input checked="" type="checkbox"/>その他(市内施設・作業所)</p> <p>(具体的な実施方法、スケジュールなど)</p> <p><実施方法></p> <ol style="list-style-type: none"> 各施設長毎に「体験会」を実施 参加希望者を募集 アンケートに協力いただき回収後ヒアリングを行う。 各施設単位と各個人に応じたアシスト内容・参加者予約管理・各種イベントなど今後の計画を「検討」・「目標」を定める。 「パソコン笑福会」1時間(操作希望者予約:15分単位/1人)と「パソコンお悩みたすけ隊」30分の実施 <p><スケジュール></p> <ul style="list-style-type: none"> 実施日:毎週火曜日 2名のチームで実施(1日3ヶ所の施設) 1回目…午前10:00~11:00、11:00~11:30 2回目…午後1:00~2:00、2:00~2:30 3回目…午後3:00~4:00、4:00~4:30 <p><その他のパソコンアシスト事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 火曜日以外の可能時 1)問い合わせ対応:メール・電話にて。(内容により有償) 2)不自由な方のパソコン活用における問題のご相談内容を各案件別検討・導入・実施。(内容により有償) <p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> MS-Windowsの標準装備の各アクセシビリティ。 目が不自由な方に適した音声リーダー。 体の不自由な方に適した補助器具。 <ol style="list-style-type: none"> 施設毎にて「定期イベント」を提供・実施。(無償) <p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> パソコンで描いた絵手紙の作品展 パソコンで描いた絵を「オリジナルアニメーション」にて上映会 参加者がパソコン操作をしている写真を「スライド上映会」で観賞する場を提供。
<p>(4) 事業期間</p>	<p>2005年06月01日 ~ 2006年03月31日</p>
<p>(5) 事業の実施体制</p>	<p>活動場所 <input checked="" type="checkbox"/>主に大和市内 その他()</p> <p>拠点となる場所 <input checked="" type="checkbox"/>大和市内 その他() 無し</p> <p>(実際に事業に携わる人、協力団体など) 渡辺 由美子・中田 勇 (今事業内容に賛同・参加者募集中)</p>

(6) 事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 情報端末(パソコン)利用に於ける「アクセシビリティ」・「バリアフリー」環境効果 ◇ 生活上制限や課題がある方の「エンパワーメント」効果 ・生活上制限や課題がある方に一人ひとりに応じたパソコンのアシスト・支援を行いながら、未知の可能性を引き出すこと、パソコンが暮らしの中のコミュニケーションツールとして役立つ楽しい道具となること。 ・Net 社会へのコミュニケーション参加で、日常生活が充実できること。 ・パソコンユーザーとして、本人の個人を尊重した自立支援へと導けること。 ・生き生きとしていただけること。喜んでいただけること。
-----------	---

4 . 申請事業の収支予算等

(1) 事業収支予算 収入には今回の市民活動推進補助金(補助希望額)を入れてください

	項目	内容	金額(円)
収入	会費収入	入会金、年会費 2名分	6,000
	事業収入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「パソコン笑福会」：9,000/1日3施設分(3,000/1施設あたり(500/人×平均6人))×4週×9ヶ月(7月~3月)=324,000 ・ 「パソコンお悩みたすけ隊」：3,000/1日3施設分(1,000/1施設あたり(500/1回×平均2人))×4週×9ヶ月=108,000 ・ 「アシスト導入支援料」：3,000~/1案件×20件=62,000 ・ 「電話・メールサポート」など：500~/1案件×40件=30,000 	524,000
	助成金・補助金	大和市民活動推進補助金「めばえ」	50,000
	寄付金(賛助)	2,000円/人口×10人	20,000
	収入合計(A)		600,000
支出	項目	内容	金額(円)
	光熱費	ノートパソコン2台分バッテリー充電等 電気代3,000円/月×10ヶ月	30,000
	通信費	携帯電話2名分 2,000円/月×10ヶ月	20,000
	交通費	移動費 2名分 2,000円/月×10ヶ月	30,000
	印刷費	資料プリントインク代・資料コピー代	10,000
	人件費	2名分 1名：6,000円/1日3施設分(1名当たり2,000円/1施設)×4週×10ヶ月(09:30~16:30実拘束6時間)	480,000
	リース費	設備(プロジェクターセットなど)	30,000
	支出合計(B)		600,000
収支差額 (A) - (B)			0

(2) 無償分の積算内訳（金額換算）

ボランティアなど無償で提供された労力などを事業費に算入する場合は積算内訳を記入してください。

積算内訳	項目	内容	金額(円)
		無償分合計（C）	

(3) 事業に要する経費合計

事業に要する経費合計	（ B ） + （ C ） =	600,000 円
------------	-----------------	-----------

5 . 添付書類

10 . 添付書類	<input type="checkbox"/> 活動実績書類
	<input type="checkbox"/> 直近の収支決算書
	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の定款又は規約 及び役員名簿
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動用案内